Activities report

2019.9 - 2020.3

ADVENTURE TOURS 2019

Next one.
~Wake your Dreams~

ADVENTURE TOURS 2019

～アウトドア冒険隊～

〈目的・ねらい〉**全１０回**の冒険の旅に出かけるアドベンチャーツアー。さまざまな地域に住む子ども達が、障害の有無に関わらず野外体験を通してアウトドアの基礎を学び、交流できるコミュニティの育成を目的とする。合わせて、自然、野外ならではのスポーツや野外活動を実施し、障害の有無に関わらずさまざまな人との交流を通して理解を深めること、将来、教師・アウトドア指導者を目指す者の野外活動における基礎理解を深めること、野外活動を通した「生きる力」を育むことをねらいとする。

National Institution For Youth Education
独立行政法人 国立青少年教育振興機構
「子どもゆめ基金助成活動」

体験の風をおこそう

■ 2019年度活動実績

活動回数	全10回（2019年9月～3月）
参加人数	親子12組（小学生13名、保護者12名） 学生４名

アウトドア基礎講座１

テント設営&ロープワーク

2019.9.8

01 テントを立てる前に確認しよう！

テントってどこに立てればいいのかな？どこに気をつけるべき？まずは、実際にテントを動かしてみよう。この課題に４人の隊員が挑戦。どんなところがポイントだったのか覚えているでしょうか？

冒険隊のテーマは、**安全に楽しくするキャンプをすること**。テントを立てるときに想定するのは、『もし雨が降ってしまったら』。野外で活動する上では必ず遭遇する状況です。雨は高いところから低いとことへ流れていきます。 降った雨水の通り道になっていないかどうか？など、テントの設営時には４つのポイントがありましたね。地形（土地や水の流れ方、風の流れ方など…）や自然に生えている木を上手に使うこともポイントです。

02 万能アイテム「ブルーシート」

キャンプのときにテントと同じくらい必要になるのが「タープ」。実は、ご家庭にも１枚はある**ブルーシート**１つあれば、タープを張り、雨除けや日よけの場所を作ることができるんです。“あと５分後に豪雨になる…！”そんな状況を想定して、はぶちゃんが『ブルーシート、ロープ、ペグ、ポール』の４つの道具を使いタープの設営を実演してくれました。今日は最後にこのタープをみなさんにも設営してもらいます！

03 ロープワークの基本を身につけよう！

タープを設営する際に必要なのは、「ロープワーク」。
やみくもにロープを縛っても、ほどくことができなければ意味がありません。
どの結び方がどんな状況で必要になるのかも教えてもらいながら、「もやい結び」「連結結び」「まきむすび２種」全部で４種類の結び方に挑戦です。ロープワークはくりかえし行うここで習得できます。ぜひおうちにあるひもで復習してみてください。

★ブルーシート　１枚　★ロープ　７本
★ポール　１本　★ペグ　５本
使っていい道具はなんとこれだけ！！
しかも、ブルーシートの角にはいくつか
穴がありますが、今回使っていいのは２つのみ！
どこに設営するのかも、超重要ですよ～！

04 実際にタープを設営してみよう！

先ほど覚えたロープワークを使ってタープを実際に張ってみましょう！制限時間は20分！限られた道具を使い、限られた時間の中で、これまでの講習を思い出しながら各チームで協力しながら設営です！

まずは支柱となる木を見つけ、ロープを使いブルーシートを張ります。どの木を選ぶかもセンスが問われる!?木には「まきむすび」、ブルーシートには「もやい結び」。各チームいい調子！苦戦したのは、横のロープを張るときにどうやってブルーシートに結びつけるか。親子でもチームでも知恵を絞りだしながら完成を目指します。どのチームもギリギリ？でなんとか完成です！最後は隊長の張ったタープを参考に、答え合わせ。

05 リュックの中身はな～んだ？

もちろん、キャンプに持っていくリュックにつめるものは必要最低限。
では、一体何が必要になるのでしょう？
隊長とはぶちゃんのリュックの中身を見せてもらいました！７つの神器、覚えているかな？ぜひご家族でキャンプするときの参考にしてみてくださいね★

アウトドア基礎講座２
アウトドア調理

2019.9.29

01 火をおこそう！

薪の種類と特性を知り、
正しい火おこしができるようになろう！

針葉樹

スギやヒノキなどの針葉樹は油分が多く燃えやすいので、着火に有効。

広葉樹

ブナやケヤキの広葉樹はぎゅっと詰まってて固いのが特徴で、火はつきにくいが長時間燃え続けるので、調理に適している。

02 実際にやってみよう！

どれで薪を組むか、いい枝を選びましょう

空気を吹き込むときは１か所にむかって…！

みんなで協力して炉を組み立てて…

無事着火♪

Lets Cooking!!

火も起きたところで準備完了！実際に調理開始。

調理に入る前に確認しておきたいこと。まずは、調理場をキレイにすること。野外での調理は使える道具も限られているので、どこに何を置いたのか分かりやすく、使いやすいキッチンづくりも大切です。少ない道具でいかにおいしい料理ができるかがアウトドア調理の醍醐味！食材も切り方や組み合わせ次第でできる料理も違ってきます。今回は短い時間の中で５品も完成！驚きと発見がたくさんありました！

これぞBBQ!!串焼き！

＼ 具材を串にさす！ ／

＼ おこした火で焼く！ ／

＼ 豪快にかぶりつく！ ／

ホイル焼き

ステーキ

ホットドック

ジップロックにいれたウィンナーをお湯にいれてボイル。おいしさも逃げない上に洗い物も少なくなる！パンを焼くとおいしかったね。

マシュマロ

子どもに大人気のマシュマロ。焼き加減が大切です♪火に近づけすぎないよう、トロトロになるまで上手に焼こう～！

おいしく！楽しく！安全に！
ぜひ薪でおこした火でバーベキュー、
やってみてね★

01 筑波山ってどんなところ？

私たちの住む、茨城県つくば市の北側に大きくそびえたつ筑波山は、日本百名山の１つでもあります。筑波山は、西側の**男体山**と東側の**女体山**の２つからなり、「神様の住む山」としてはるか昔から信仰されてきました。男体山の山頂には男の神様、女体山の山頂には女の神様がそれぞれ祭られています。登山ルートには多くの奇石・怪石が点在し、それぞれの由来や言い伝えを楽しみながら登るのも、魅力の１つです。また、筑波山にはめずらしい植物や動物も存在し、２３種類の哺乳類と１２０種類の鳥類が住んでいる自然豊かな山でもあります。冬でも葉が緑のままなアカガシという植物も登山ルートに存在します。アカガシは暖かい地域に多い植物であり、アカガシの増加は温暖化の象徴とも言われ近年筑波山にも多くみられます。

登山の基本

① 小さい歩幅でジグザグ歩行を。

② 木の上は滑るので避けながら歩く。

③ 基本的には降りてくる人を優先する。

02 登山中にある木の根っこ

自然の中で活動する上で必ず守らなければいけないルールがあります。それは、「ありのままの姿で返すこと」。壊れてしまった自然は元には戻りません。自然が自分たちに楽しさをくれる代わりに、自然を大切にすることは基本です。登山ルートには、地面からにょきっと顔を出した木の根っこをいたるところで見ることができます。これは雨で土が流れたり、登山客が歩くことで表面が削れてしまったことが原因の１つです。登山するときに木の根が見えていることを気にせず踏み続けると、根が傷つき、その木は枯れてしまいます。登山中はできるだけ根っこを踏まないようによけながら歩いていきましょう。

今回はおたつ石コースを進みます。最初は傾斜がきつい階段がたくさん。天気がよければスカイツリーが見えるスポットもあるんです！

歩き進めるにつれて、生えている木の種類も変わってきたね。木の根っこが見えていることろは踏まないように進んでいきましょう。

いろんな形の石が！全部自然に形作られたそう。パワースポットとしても有名な筑波山。石にも色んな特徴がありました。

中腹の「弁慶茶屋」で休憩。お菓子を食べて元気も復活！！

頂上に近づくにつれ、霧がどんどん濃く…まるで雲の中にいるみたい！

たくさん歩いたからおなかもペコペコ。頂上でお昼ご飯ですっ。

今回の登山では、登山を楽しむことはもちろん、自然を大切にすることをモットーにゴミ拾いもしながら頂上を目指しました。１人１人が小さな心がけをすることで自然が少しでもありのままの形で生き続けることができます。ぜひ、また登山する機会に、今回一緒にこれなかった家族やお友達にその大切さを教えてね。

アウトドアスポーツ アスレティック

2019.10.27

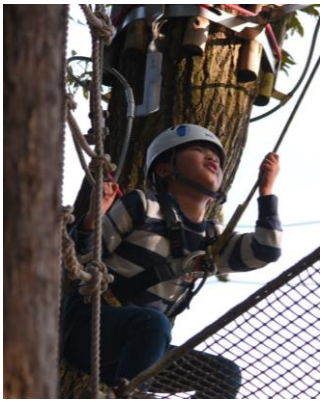
01 フォレストアドベンチャーとは？

今回の活動場所は、筑波山神社近くにある「フォレストアドベンチャー」。フランス生まれのこの施設は、自然の中に生えている樹を利用したアウトドアパーク！パークの中にあるたくさんのアクティビティをクリアしながら、樹と樹を移動する中で、普段体感することのできないような高さでのスリル感やクリアしていく達成感を味わうことができます。

フォレストアドベンチャーの大原則は「自分の安全は自分で守る」こと。樹の上で、自ら安全用具を操作し、自分で安全を確保しながらゴールを目指します。

02 安全講習を受け、いざコースへ！

最初にも述べたように、フォレストアドベンチャーでは、自分の安全は自分で守ります。このルールは大人も子どもも関係ありません。大人も子どもも一緒になって安全講習を受けます。コースを進むうえでプーリーと呼ばれる安全器具の扱いがとても大切になります。コースによっては、１つ１つのアクティビティをクリアしていく中で、プーリーをつけかえる場面もあります。プーリーは自分の安全を守ってくれるとても大切な役割を担っているんです！講習用のコースでプーリーの正しい使い方を習得したら、いざコースへ！今回は、１～３年生とその保護者は「キャノピーコース」。４年生以上は「アドベンチャーコース」の２つに分かれてアクティビティを体験！



キャノピーコース

小学１～３年生が挑戦したキャノピーコース。キャノピーコースの中にも３種類のコースがあり、中には全コース制覇した子も！綱渡りのように１本のワイヤーを渡ったり、丸太を渡ったりと、いろんなアクティビティをクリアしていくうちにカラダの使い方がどんどん上手になっていましたね！

アドベンチャーコースでは、設置される遊具の高さがキャノピーコースよりも高い場所にあったり、樹と樹を渡るためのアクティビティのスリルがパワーアップ！蜘蛛の巣状に張られた大きな網にとび込むアクティビティも！最後の100mジップスライドで味わえる爽快感は最高でした！

アドベンチャーコース

アウトドア基礎講座３

救命救急

2019.11.2

01 ライフセービングについて

今回、講師をしてくださったのは、いわきライフセービング協会の今井さん。今回のテーマは、LifeSavingする（命を救う）ためにどういった応急処置をしていくのか？たくさん教えてもらいましょう！

「ライフセービング」という言葉を初めて聞く子がほとんど。夏に海に行ったときに、黄色と赤の服を着ている人がよくいるよね。では、そのライフセーバーさんはどんなことをしているんだろう？彼らの仕事は、監視をすることで溺れる人を作らないこと。同じように今回の講習を通し、知識を持つことで、何かあったときにすぐに動けるようになるために、事故が起こらないよう未然に防げるようになっていきましょう。

02 救命救急とは

野外で活動しているときに、もし怪我をしてしまったら…？もし災害に巻き込まれてしまったら…？そんなもしものときに「ファーストエイド」、応急処置ができるよう知識をしっかり身につけておきましょう。野外だと救急車がすぐにはいっていけない場所もあります。病院に行くまでに、その怪我を悪化させないような応急処置の方法を知っておくことで、その後の怪我の治りが早くなったり、場合によっては生存率が変わってくる場合もあります。

今回は応急処置の方法として、三角巾を使った結び方や止血方法、固定法を学びました。心肺蘇生法も実践を通して練習をしました。もしも隣でお母さんが倒れてしまったら？119番通報から救急車が来るまでは平均で8.6分かかると言われています。だた救急車が来るのを待つのではなく、救急車が来るまでに心肺蘇生法で脳に酸素を送ることができれば、その後助かる確率がぐんと上がります。今回の講習で覚えた知識はとても大切なことばかり。大切な人を救えることができるよう「もしも」のときに備えて、おうちにあるタオルなどで工夫して復習してみてね。

応急処置

三角巾を使った応急処置の方法について、実践演習を行いました。三角巾の使用法を知っていると、ふろしき、スカーフ、シーツなどで代用して応急処置を行うことができます。

結び方

固定法

止血法

心肺蘇生法

ポイントは「強く！早く！たえまなく！」。意識がない、正常な呼吸がない、そんなときに心肺蘇生法を行うことで、その後の命を救える確率が大きく高まります。ぜひ、正しい行い方を覚えておきましょう！

アウトドアスポーツ
霞ヶ浦湖上体験&カヤック

2019.11.10

01 水質調査へGO！

今回は、ホワイトアイリス号に乗って、霞ヶ浦の水質調査へ。霞ヶ浦の中心へ向かった後は、霞ヶ浦の水はどのようにして人の生活に使われているのか船の中で学習。霞ヶ浦は昔、海水浴場としてたくさんの人が遊びにきていたんだって。そんな霞ヶ浦の変遷についても教えてもらいました。湖の真ん中まで進んでいったら、霞ヶ浦の水と水道水との臭いを比べてみたり、微生物の調査なども行いました。

霞ヶ浦の水は、巡り巡って私たちの生活になくてはならないものとなっていることを改めて感じることができました。霞ヶ浦の水は私たち人間だけのものではなく、えさやりをしたかもめやたくさんの生き物や植物の命を支えています。水も限りある資源です。水道を開けっ放しにしない、シャンプーを使いすぎないなど、自分たちにできることを少しずつ行っていきましょう。小さな心がけが大切です。

ホワイトアイリス号に乗って霞ヶ浦の水質調査へ！

臭いをかいだり、微生物を探してみたり…！

かもめのえさやり体験も♪

カヤック

パドルの使い方や漕ぎ方の講習を受けた後は、早速出廷！親子で２人乗りのカヤックにのったり、漕ぐのに慣れてきたら１人乗りのカヤックにも挑戦しました。

アクセスディンギー

小学校高学年以上はアクセスディンギーも体験しました。風の向きを読みながら帆の向きを変えることで進行方向を変えて進むアクティビティ。中学生にもなると、風を読むのも上手で、左右の方向転換もスムーズに行うことができていました！

ドラゴンボート

２チームに分かれてレガッタも行いました！チーム全員の息を合わせるための太鼓が大切でした。

アウトドア基礎講座４

天候観察

2019.12.8

飛行機雲がすぐに消えると晴れる！

飛行機雲は、冷たくて湿った空気のときにできやすい！それがすぐに消えるのは上空が安定している気候なので晴れやすい！

星がキレイにたくさん見える次の日は晴れる！

星がキレイにたくさんみえるのは、空気が乾きすんできるとき！これは雲ができにくい条件でもあるので晴れる可能性が高い！

合言葉は…

かんてんぼうき

観天望気

ネコが顔を洗うと雨が近い！

湿度が高いと、ネコのヒゲの張りがなくなるのでヒゲをピンとはっておけるように顔を撫でます。湿度が高いのは、低気圧が近づき雨が近い！

カエルが大声で鳴くと雨が降る！

カエルの皮膚の粘膜はしめっていることが大切なので雨が大好き！雨が近くなると喜んで大声で鳴きだします！

※**観天望気とは**…『天気のことわざ』とも言われ、自然現象や生物の行動の様子などから天気の変化を予測すること。

みんなが見つけた「天気の特徴」

ここからどんなことが言えるでしょう？

葉っぱについた水滴

日陰に残る水たまり

北風になびく旗

遠くにある
筑波山までよく見える

01 座学

野外で活動する上で、天気の変動や天気の特徴について知っておくのは、とても大切。自分の身の安全を守る上でも、雨が降る前の現象を見つけたり、雲の動きで天気を読むことができれば、自分の身の安全を守ることにも繋がります。

今回のテーマは「観天望気」。自然現象や生き物の様子から天気を予測すること。天気のことわざのようなものです。今回は、いろんな観天望気を教えてもらいました。観天望気から“なぜそうなるのか？”その理由も教えてもらいました。天気が急に変わるのではなく、風の流れや雲の動きなどで、事前に天気の変化を読むことができるんです。

晴れと曇りの境目ってどこなのか、イルミネーションがきれいにみえるのはどんなときなのか、など…お天気クイズを通じて、天気にまつわる豆知識もたくさん教えてもらいました。

02 撮影

探すは観天望気！天候に関する特徴を撮影すべく外へ移動。簡単そうに見えて、これが中々の難題で…。太陽の向きや影の伸び方、植物の様子など…親子で協力して探しました。

03 発表

写真を撮影した後は、グループに分かれてお天気ニュースの台本づくり。どんな内容を伝えようか、各チーム頭を抱えていましたが、お父さんお母さんのサポートの下、無事、台本が完成。その日の天気だけではなく、季節にまつわる豆知識や天気の特徴を知らせる写真の説明など、とても分かりやすいニュースばかりでした！

まめちしき！ゆきのけっしょうは、にんげんの顔と同じように１つ１つちがっているんですよ。

この時期の朝はとても寒くなりますが、おてんきは晴れの日が多いのでおでかけ日和になります。

けさは北風がふいていましたね。「朝に北風がふくとはれる」というかんてんぽうきどおり、今日はかい晴になるでしょう！

冬になると植物のはっぱがあかくなるので、さむさをつえるために写真をとりました！

アウトドアスポーツ
ウィンタースポーツ

2020.2.23

01 新潟県十日町市ってどんなところ？

今回訪れたのは、新潟県十日町市にある越後妻有。豪雪地帯と言われる十日町市は農業と芸術が盛んな街です。３年に１度開催される大地の芸術祭など、芸術で町おこしに取り組んでいます。

今回は、地元の方だけではなく、女子サッカー選手が棚田の担い手として移住・就農し、プレーする農業実業団チーム「FC越後妻有」のみなさんも活動に帯同していただき、サポートしてくれました！

02 スノーシューって何？

「かんじき」とは、木と縄でできた雪の上を歩く道具です。
雪の上を普通の靴で歩くと、踏み固められていない雪の上は足を取られて思うように歩くことができません。かんじきを履くことで、体重が分散し雪の上が歩きやすくなるんです。西洋ではスノーシューとも呼ばれ、雪山をハイキングで楽しく際に履かれます。かんじきを履くことで、急な斜面も登っていくことができるんです★

03 実際にスノーシューを体験！

地元の協力隊の「案山子隊」のみなさんが今回のかんじきツアーの先生です。

実は、今回私たちがつくばから来るという噂を聞きつけて、予定よりも倍の人数の方がサポートに来てくれたんです！案山子隊のみなさんにかんじきを履かせてもらった後は、説明を聞き、実際に雪山へ！「いつもは、もっと雪がつもっているんだけど…」という、地元の方の声。やはり暖冬の影響で、積雪量が少ないようで…。実は今回のスノーシューもできないんじゃないか…と直前まで心配していたくらいです。でも、なんとか前日までに雪がふってくれたおかげで、今回、ウィンタースポーツを楽しむことができました。

かんじきを履き、雪山を探検したあとは、雪遊びの時間。特に盛り上がったのは、太い丸太を使った山ぞり！地元のタフガイ松代山ぞり隊のみなさんが何回乗っても飽きない子ども達に最後まで付き合ってくれました。笑

つくば市はめったに雪が降りません。なかなか遊ぶことのない雪でそりを滑ったり、雪合戦をしたり、大興奮で時間いっぱい遊びつくしました。

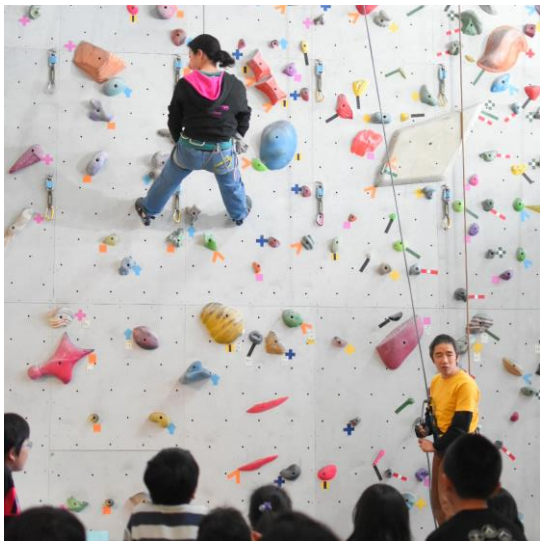
04 スノーシューが終わったら…

日本三大薬湯松野山温泉で冷えた体を温めて、地元のお母さん達と一緒に夕食づくりも行いました！大根菜っ葉を炒めてつくった具を米粉でできた皮で包んだ「あんぼ」づくりにも挑戦！カレーとサラダも協力して作りました。地元でとれた野菜やお米を使った夜ごはん。みんなでつくったからよりおいしいね。夜は、FC越後妻有の選手も交えた白熱のサッカー大会になりました。

十日町市でしかできない貴重な経験がたくさんできました！

アウトドアスポーツ
ロープクライミング

2020.3.1



01 ロープクライミングとは…？

今回は、NPO法人モンキーマジックから４名の先生が来てくれました。講師よりご挨拶を頂いたあとは、実際にクライミングしているところを見せてもらいました。登る人はクライマー、登る人を守るのがビレイヤー。クライマーとビレイヤーが組み合わさって、クライミングとなります。この２人がどんな役割で、どんな言葉がけをしているのかに注目です。

ロープクライミングのながれ

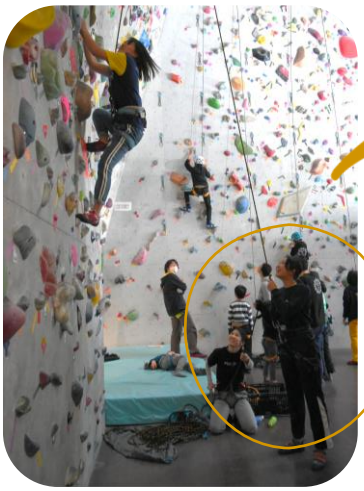
1. 「よろしくお願いします！」お互いに安全確認を行う
   （正しくハーネスをはいている？ビレイループはねじれていない？）
2. 「はーいよろしく！」ATC（あんた とっても チャーミング）をつける
3. 「登ります！」登ることをしっかりアピールしてクライミング開始！
4. 「ガンバ！」ビレイヤーはロープがゆるまないように引っ張りづつける
5. 「テンション！」ゴールについたら降りる準備をするようアピール
6. 「テンションOKです！」ロープをぴんぴんに張ったことを伝える
7. 「ありがとうございました。」クライマーは降りて、最後に命を守ってくれたビレイヤーにお礼を伝えクライミングが終了です

02 “クライマー”を体験！

今回、小学１～４年生はクライマーの役割に集中して取り組みます。クライマーもただ登るだけではなく、『Own Lisk』。自分自身の安全は自分で守ることをテーマに、正しいハーネスの付け方やビレイヤーとクライマーをつなぐロープにカラビナをつけるところまでチャレンジしました。安全に登る準備ができたら、あとは登れるところまで登ってみる！自分自身の限界に挑戦です！みんなが苦戦したのは、**おり方**。ビレイヤ―を信じて、椅子にすわるように体重を後方にかけて壁を降りていきます。最初は、うまく降りれなかった子も、最後はコツをつかんで上手に降りれるようになっていました。

03 “ビレイヤー”を体験！

小学５年生以上と保護者が体験したのは「ビレイヤー」。クライマーの命を守るとても重要な役割です。まずは、カラビナ２枚をクライマーのビレイループに通します。ビレイをする前に、必ずクライマーが正しく用具をつけれているか確認しましょう。このときだけは、決してクライマーのことは信じないこと。用具が正しくつけれているのを確認したらビレイがスタートです。ビレイヤーがしっかり安全を守ることでクライマーも安心して、登っていくことができます。手の使い方やビレイの５ステップを何度も練習しながら習得を目指します。



バックビレイヤー

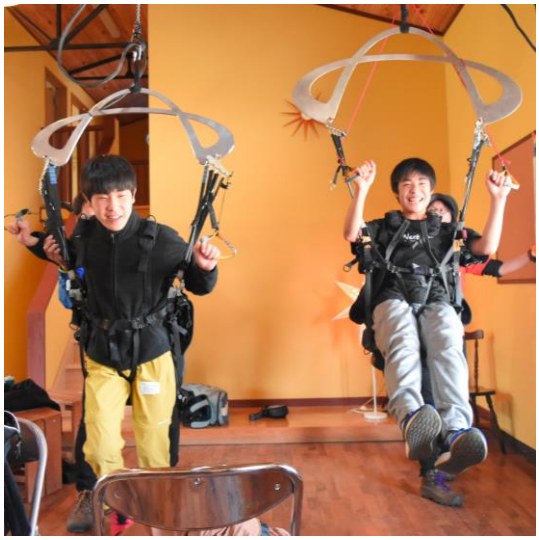
ビレイヤーがもしロープを離してしまったら…!?そんなときのためにスタンバイしているのが、「バックビレイヤー」。バックビレイヤーは黒子です。ビレイヤーの邪魔にならないようにたれているロープを調整します。バックビレイヤーは自分の身を呈してクライマーを守るのも仕事。最後の砦です！自分がどこにぶつかろうが何しようが、ロープを離してはいけません！

04 いざ、親子でクライミング！

ついに親子でロープクライミングに挑戦！クライマーは子ども、ビレイヤーはお父さんお母さん。ビレイヤーはクライマーがより高いところへ登っていくためにも、安全なビレイはもちろん声のかけかた１つ大切になってきます。お互いにはらはらしながらのチャレンジでしたが、親子の絆を確かめ合えたでしょうか？

アウトドアスポーツ
パラグライダー

2020.3.22



01 パラグライダーとは

今回は石岡市にあるSoratopia～ソラトピア～にて、パラグライダーを体験です！パラグライダーとは、風の力を使い、パラシュートのようなものを操作して空を飛ぶスポーツ。「パラシュートタイプのグライダー（滑空機）」が名前の由来です。実はパラグライダーって、もともとは登山者が山を下りるときの手段として使われていたのが、次第に形が変わりスポーツになっていったんだ！

パラグライダーで、空をとんでいる間は、イスに座ったような姿勢で飛んでいきます。カラダがすっぽりとシート（ハーネス）におおわれているため、安定感があり快適です。室内でシュミレーターに乗り操縦の仕方や最初の飛び立つ感覚を確認しました。このシュミレーター、とってもすわり心地がよくて、「おうちに持って帰りた～い」って子もたくさんいましたね。笑

02 風の流れを読もう。

今回はただフライトを体験するだけではなく、風の特性についても詳しく教えていただきました。風を上手に読むことができれば、その力を使って上手にフライトするとこができます！用具を正しく扱うことはもちろん、「風を読むこと」がとても大切ですね！

翼の秘密についても教えてもらいました。実は飛行機も風の力を使って、とんでいるんです。実際に段ボールへ風に当て、どの角度だと風が力になるのかを実験してみました。最初は垂直だった段ボール。これを段々傾けていくと、一定の角度になったときに風が抜けて行ってしまいました。パラグライダーのつばさも進行方向に傾いていて、これからとぶよ！ってときは、翼の下の帆に風が当たっているんだって。また、空気って少し粘り気があってくっつこうとする特性があるんだってことも実験を通して教えてもらいました。少し難しいけど、自分の使う道具と風の流れ、力が発揮される仕組みを理解すると上手に空を飛べるようになるんだって。なんだかわくわくするね。

Take off!!

03 実際にとんでみよう！

さぁ、しっかり学習もしたので実際にパラグライダーを体験です。当日は春一番の風が吹き、上級者向きの気候…。ぐるぐると風が回ってて、いろんなところから風が吹いてきていたんだって。

今回のプログラムでは、風を読む難しさや自然の中で遊ぶ難しさも体感。自然の条件はいつも違うからこそおもしろい。きっとまた同じところから飛んでも、その日の天候状況によって見える景色も変わってくるはず… 「もっと遠くまで飛びたかった…！」との声も聞こえたので、ぜひ今度は、次のレベルとして「風を読んで飛ぶ。」ことで、よりパラライダーの面白さを体感できたらいいね！

■ 活動場所並びに講師の皆様

① 9/8　場所　かつらぎ公園
　講師　山本　学
　　土生都　直哉

② 9/29　場所　豊里ゆかりの森バーベキュー場
　講師　山本　学
　　土生都　直哉

③10/27　場所　筑波山(おたつ石コース)
④ 〃　場所　フォレストアドベンチャーつくば

⑤11/2　場所　つくば市役所コミュニティ棟
　講師　いわきライフセービングクラブ今井恵子

⑥11/10　場所　ラクスマリーナ（土浦市）

⑦12/8　場所　つくば市役所コミュニティ棟
　講師　岩崎　幸教

⑧2/23　場所　新潟県十日町市
　講師　NPO法人越後妻有里山協働機構
　　案山子隊、地元のボランティアの皆様

⑨3/1　場所　スポーレクライミングジム
　講師　NPO法人モンキーマジック
　　小林幸一郎　木本多美子　他

⑩3/22　場所　Soratopia（石岡市）

特定非営利活動法人　Next one.

Next one.
~Wake your Dreams~

〒305-0817　つくば市研究学園5-5-5-302
☎　070-5457-8314
✉　info@npo-nextone.com
HP　http://www.npo-nextone.com

facebook
活動の様子を更新中★
いいね！してね！